



商船三井さんふらわあ News Release

2025 年 8 月 27 日

株式会社商船三井さんふらわあ

障がい者雇用の取り組み「さんふらわあファーム ふくおか」での無農薬野菜栽培
～大阪～別府航路船内レストランで収穫物を提供～

商船三井さんふらわあ(社長:牛奥 博俊、本社:東京都千代田区、以下「当社」)は、2025 年 1 月に、福岡県糟屋郡において「コルディアーレ福岡農園」(※)の一部を借り受け、自社農園「さんふらわあファーム ふくおか」の運営を開始しました。同農園では、障がいを持つ社員による無農薬野菜の水耕栽培を行っています。収穫した野菜は、7 月から、当社大阪～別府航路“さんふらわあ くれない”、“さんふらわあ むらさき” 船内レストランで提供を開始し、メニュー品質向上に役立てています。

※障がい者雇用を支援する「(株)JSH」(本社・東京)が福岡県糟屋郡に設置した企業向け貸し農園

「さんふらわあファーム ふくおか」では、屋内の安定した環境で栽培業務を行うことができるため、一人ひとりが持てる力を個々の特性に応じて発揮し、安心して働くことができます。

当社は、障がい者が「さんふらわあファーム ふくおか」で働くことにより、地域社会の一員として継続して生活できることに貢献したいと考えます。



育苗室で種から発芽させます。



整備された屋内での水耕栽培



別府航路の船内レストランで彩りを添えています。(スイスチャード・焼肉レタス・ルッコラ等)

商船三井グループでは、グループビジョンの実現を通じて社会と共に持続的な発展を目指すための重要課題として「サステナビリティ課題（マテリアリティ）」を特定しています。本件は、5つのサステナビリティ課題の中でも特に「Human & Community -人の活躍と地域社会の発展-」にあたる取り組みです。

